

国際地域女性アカデミー

3月10日(火)、12日(木)の2日間、国連防災世界会議に向けてのイベントとして国際地域女性アカデミーが町内で開かれ、2日目の12日(木)にはオープンフォーラムがベイサイドアリーナにおいて併催されました。アカデミーでは、東北の被災3県で復興や支援に関わる女性たちと、アジアや南米などから集まった女性たちが参加。それぞれの体験や知恵を共有し、災害に強い地域をつくるためにはどうしたら良いかを話し合いました。オープンフォーラムでは、2日間のアカデミーの成果を報告し、登壇者と会場に集まった参加者が「わたしコミット(災害時にわたし、家族、地域を守るために、今わたしがやるべきこと、できること)」を宣言しました。



食アメニティコンテスト

農林水産大臣表彰 受賞

農漁家レストラン「慶明丸」



3月25日(水)、東京都内の会館を会場に、平成26年度「食アメニティコンテスト」の表彰式が行われ、農漁家レストラン「慶明丸」が見事に農林水産大臣賞を受賞し、町に報告されました。本コンテストは、農山漁村の女性グループ等の自主的努力による地域の特産物を活用した「食」に関する起業活動などを通じ、地域づくりに貢献している優れた取り組みを表彰するものです。農漁家レストラン慶明丸では、地域食材の活用にこだわった料理を提供しており、代表料理は、旬の海産物を使った炊き込みご飯とワカメしゃぶしゃぶです。炊き込みご飯は、地元で採れるアワビやウニ、地元で養殖されているホタテ貝のほか、牡蠣やシウリ貝(ムラサキガイ)、アカザラ貝などを食材としています。ワカメしゃぶしゃぶは、生ワカメが収穫できる1月から4月までの期間限定で、採れたての生ワカメをカニやシウリ貝のダシに潜らせ、色鮮やかな緑に変わったところでいただくもので、老若男女に大好評です。

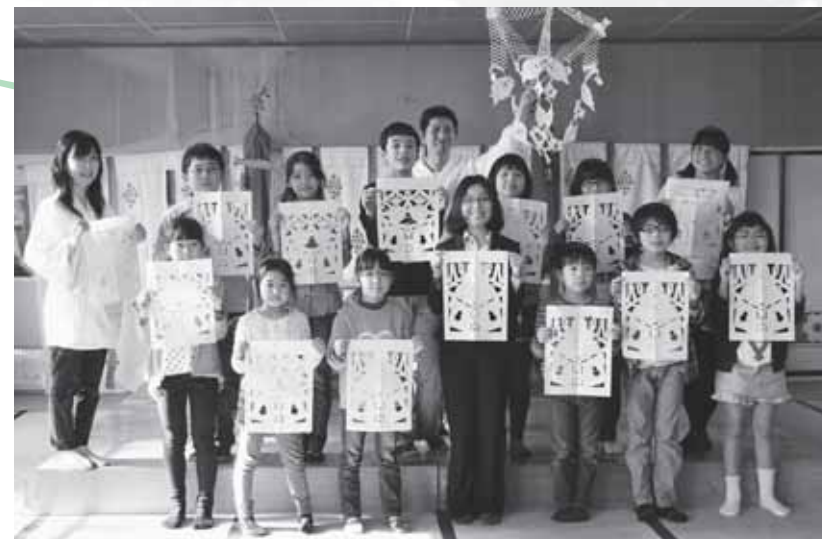
スポーツ少年団結団式

4月10日(金)、ベイサイドアリーナにおいて南三陸町スポーツ少年団結団式が開催され、18単位団152名が参加しました。式では、少年団本部長の山内一夫さんがあいさつを述べ、各スポーツ少年団より今年度の抱負が述べられました。閉会式後は、綱引き大会が開催されました。大会では、8つのチームに分かれ、各単位団の枠を超えた戦いが繰り広げられました。



きりこ作りを体験

3月28日(土)、三笠宮家彬子女王殿下が総裁を務められる心游舎が、上山八幡宮神社において「きりこのワークショップ」を開催しました。東日本大震災で被災のあった地域に足を運ぶ機会になればと、昨年より開催しているワークショップで、昨年の福島に続いて2回目の開催となります。今回のワークショップでは、南三陸町や仙台市、関西地方などから子供や保護者など約30人が参加しました。彬子女王殿下も子どもたちと一緒にきりこ作りを体験され、2日目の29日(日)にはさんさん商店街を視察されました。



春休み防災行政無線放送

町では、防災行政無線放送で、冬休み中の子どもたちが安全に帰宅できるようアナウンスをしています。今回は志津川中学校1年生の熊谷一真さんが協力してくれましたので、お話を聞きました。

今回、放送を担当することになったきっかけは？
学校での放送の評判が良く、推薦されて担当することになりました。

録音をしての感想は？

いつも学校で放送しているときと変わらず、しっかりできました。

最後に一言。

2年生になっても学校で放送委員をやりたいです。学校では生放送なので、時間に気をつけて行動したいです。



おかえりなさい

ひころの里において郷土の宝資料展が、5月25日(日)まで開催されています。町指定有形文化財である松笠屋敷は、地震によって文庫蔵や収蔵品が被害を受けました。このたび、ようやくその修復が完了し、収蔵品も再展示できる環境になりました。そのことを受けて、書画や書状、地図などの郷土の宝をあらためて展示するとともに、被災直後の状況から修復・返却されるまでの取り組みをパネル等で紹介しております。

